

機能要件適合表

様式7

本事業にて導入を予定しているシステムが、実施要領別紙1「業務内容説明書」の「6（2）システムの要件」に示す各機能について、「システム標準機能」「カスタマイズ（機能追加や変更）」「代替案（利用・運用上の工夫）」のどの方法で実現できるか、当てはまる欄に『○』を記載してください。カスタマイズが有償の場合には、その費用がわかるよう見積書に記載してください。また、代替案の場合は、具体的な内容を備考欄に記入してください。

大項目	小項目	項番	概要	システム標準機能	カスタマイズ	代替案	備考
基本機能	機器環境	①	パソコン、スマートフォン等、多くの利用者が利用するインターネット端末で操作できること。				
基本機能	機器環境	②	以下の環境で正常に動作すること。提案に当たっては、各ブラウザで対応可能なバージョンを記載すること。 ○対応デバイス：スマートフォン、タブレット端末 対応OS：Android、iOS、macOS、windows、iPadOS、 対応ブラウザ：Chorome、Safari ○対応デバイス：PC 対応OS：windows、macOS、 対応ブラウザ：Microsoft Edge				
基本機能	ネットワーク環境	③	利用するクラウドサービスは「政府情報システムのためのセキュリティ評価制度（ISMAPP）」に登録されたサービスに限ること。				
基本機能	ネットワーク環境	④	同時アクセスやデータ容量の過多によるシステム及びネットワークダウンが生じないような信頼性及び安定性を高めるための適切な対策を講じること。				
基本機能	データ管理	⑤	システムの運用上、データのバックアップを定期的に自動で行うことに対応したシステムであること。				
基本機能	データ管理	⑥	クラウド上にデータを保存・管理し、クライアント側は、原則データを持たないようにすること。				
基本機能	サービス提供時間	⑦	24時間365日稼働するシステムであること。 ※システムメンテナンス等、一時的に稼働を停止する場合には、事前に区と協議し、区の承認を得ること。				
基本機能	デザイン・操作性	⑧	操作性・視認性に優れ、アクセシビリティに配慮したものとすること。				
基本機能	デザイン・操作性	⑨	基本操作及び画面のイメージが統一され、操作が容易になっていること。				
基本機能	情報セキュリティ	⑩	予約システムのサーバー及びサーバーと通信するデータに関しては、不正アクセス、その他のセキュリティインシデントを防止するための適切な対策を講じること。				
基本機能	情報セキュリティ	⑪	システム管理のため、操作ログ、アクセスログを収集すること。				
基本機能	情報セキュリティ	⑫	予約システムの稼働環境及びテスト環境で用いるOSやソフトウェアは、セキュリティパッチやバージョンアップなどを行い、常に最新の状態にすること。				

機能要件適合表

様式7

本事業にて導入を予定しているシステムが、実施要領別紙1「業務内容説明書」の「6（2）システムの要件」に示す各機能について、「システム標準機能」「カスタマイズ（機能追加や変更）」「代替案（利用・運用上の工夫）」のどの方法で実現できるか、当てはまる欄に『○』を記載してください。カスタマイズが有償の場合には、その費用がわかるよう見積書に記載してください。また、代替案の場合は、具体的な内容を備考欄に記入してください。

大項目	小項目	項番	概要	システム標準機能	カスタマイズ	代替案	備考
基本機能	統計機能等	⑬	原則、すべての登録されたデータは、画面上での確認やエクセルまたはCSV形式で出力でき、区及び病児保育室運営事業者がデータを加工して資料を作成できること。				
基本機能	統計機能等	⑭	随時、ユーザデータ、予約データ等を抽出できること。また、抽出に当たっては、期間・利用施設・年齢など、抽出するテーブル・項目を任意に選択できること。				
基本機能	統計機能等	⑮	予約データ・実績データ等、利用者に関するデータについては、氏名や電話番号等で容易に検索できること。				
基本機能	その他	⑯	入力エラーとなった場合は、エラーメッセージが表示されること。				
基本機能	その他	⑰	サービスの稼働、運用、提供に係る法規制を順守するとともに、常に最新の動向を把握し、適宜、必要な見直し、改善を図ること。				
利用者情報の登録機能	アカウント管理	①	利用者が予約システムを利用する際に、ID・パスワード管理を行うこと。また、利用者がIDまたはパスワードを失念した場合、利用者自身でパスワードのリセット等ができること。				
利用者情報の登録機能	アカウント管理	②	登録した利用者情報について、利用者からの操作でアカウント削除ができること。ただし、アカウントが削除されても区と施設は過去の情報を閲覧できること。				
利用者情報の登録機能	区登録番号との連携	③	予約システムへの利用者情報の登録に当たって、区が事前に利用児童それぞれに発行する登録番号を入力できるようにするなど、区が保有する登録番号を活用、連携できること。				
利用者情報の登録機能	登録する利用者情報	④	予約システムに登録する利用者情報として、施設ごとに必須入力項目と任意入力項目が区別できること。また、施設ごとに任意入力項目を設定できること。				
利用者情報の登録機能	登録する利用者情報	⑤	1人の利用者（保護者）に対して、きょうだいなど、複数の児童の登録ができること。				
利用者情報の登録機能	登録する利用者情報	⑥	利用児童の基礎的情報（アレルギー情報、予防接種履歴等）や保護者情報（住所や勤務先、緊急連絡先等）の入力及び登録、更新ができること。				
利用者情報の登録機能	利用規約等への同意	⑦	予約システムの初回利用時又は重要な変更を行った際に、利用者利用規約の内容を提示し、同意をとることができること。また、個人情報の取り扱いにかかる同意文書を提示し、同意を取ることができること。				

機能要件適合表

様式7

本事業にて導入を予定しているシステムが、実施要領別紙1「業務内容説明書」の「6（2）システムの要件」に示す各機能について、「システム標準機能」「カスタマイズ（機能追加や変更）」「代替案（利用・運用上の工夫）」のどの方法で実現できるか、当てはまる欄に『○』を記載してください。カスタマイズが有償の場合には、その費用がわかるよう見積書に記載してください。また、代替案の場合は、具体的な内容を備考欄に記入してください。

大項目	小項目	項番	概要	システム標準機能	カスタマイズ	代替案	備考
利用者情報の登録機能	重複判定	⑧	利用者・利用児童の重複登録を防ぐため、登録時に既に登録がある利用者等について氏名・メールアドレス等の任意の項目により、重複判定を実施できること。				
利用者情報の登録機能	代理登録	⑨	施設窓口などで利用者情報の登録を紙で受け付けた場合に、病児保育室運営事業者が利用者情報を代理登録できること。				
予約・キャンセル機能等	システム利用時間等	①	利用者が24時間、利用者情報の登録、予約の入力、空き状況の確認など、予約システムを利用できること。ただし、予約の受付については、施設ごとに、予約可能時間を設定できること。				
予約・キャンセル機能等	施設情報等の確認	②	予約に当たって、利用者が予約システム上で、施設の詳細情報（開室時間や定員等）の確認ができること。				
予約・キャンセル機能等	重複予約判定	③	重複予約に対してチェック機能を有し、同じ日に複数の施設で予約をできないようにすること。				
予約・キャンセル機能等	予約時の入力情報	④	利用者が予約の入力時に、利用児童の病状や診断名など、利用の適否を施設側が判断するために必要な任意の情報を入力できること。				
予約・キャンセル機能等	予約時の入力情報	⑤	予約時に入力する利用者情報について、施設ごとに必須入力項目と任意入力項目が区別できること。また、施設ごとに任意入力項目を設定できること。				
予約・キャンセル機能等	予約時の入力情報	⑥	医師連絡票の提出が必要な施設については、利用者が医師連絡票を電子データとしてアップロードでき、病児保育室運営事業者がその内容を確認できること。				
予約・キャンセル機能等	医師連絡票の案内	⑦	現在は、医師連絡票の提出が必要な施設を利用する場合、まず、利用者は病児保育室に電話連絡をし、仮予約を行う。仮予約ができた後に、利用者は医療機関を受診し、医師連絡票の作成を医師に依頼する（病児保育室へ仮予約を行う前に、医師連絡票を取得することを利用者に対してお断りしている）。 予約システムにおいても、医師連絡票の提出が必要な施設については、この流れで予約受付を行いたいため、利用者に対して、病児保育室が仮予約を承認するのを待っている段階なのか、仮予約が病児保育室に承認され、医師連絡票の作成を医師に依頼できる段階なのか等、利用者自身の状態をシステム上でわかりやすく案内できるようにすること。				
予約・キャンセル機能等	予約確定	⑧	病児保育室運営事業者が利用者の予約時の入力情報を確認した上で、予約を確定できること。				
予約・キャンセル機能等	予約確定	⑨	病児保育室運営事業者が予約を確定した後に、施設の予約枠（空き情報）が更新されること。				

機能要件適合表

様式7

本事業にて導入を予定しているシステムが、実施要領別紙1「業務内容説明書」の「6（2）システムの要件」に示す各機能について、「システム標準機能」「カスタマイズ（機能追加や変更）」「代替案（利用・運用上の工夫）」のどの方法で実現できるか、当てはまる欄に『○』を記載してください。カスタマイズが有償の場合には、その費用がわかるよう見積書に記載してください。また、代替案の場合は、具体的な内容を備考欄に記入してください。

大項目	小項目	項番	概要	システム標準機能	カスタマイズ	代替案	備考
予約・キャンセル機能等	予約のキャンセル	⑩	利用者が24時間、予約のキャンセルができること。また、キャンセルに当たっては、利用者がキャンセル理由を入力できること。				
予約・キャンセル機能等	予約のキャンセル	⑪	利用者が予約をキャンセルした後に、施設の予約枠（空き情報）が更新される仕組みとすること。また、施設に合わせて、利用者によるキャンセル可能時間の設定ができること。				
予約・キャンセル機能等	予約のキャンセル	⑫	施設の予約枠が埋まっている場合に、キャンセル待ち予約ができること。				
予約・キャンセル機能等	予約のキャンセル	⑬	病児保育室運営事業者による予約の確定時等に、利用者及びその他の登録された保護者に自動的にメッセージが配信されること。				
予約・キャンセル機能等	リマインドメール	⑭	利用予約の前日の夜等に、利用者に対し、自動的にリマインドのメッセージが送信されること。				
予約・キャンセル機能等	空き状況等の確認機能	⑮	利用者が各施設の予約枠の空き状況を確認、検索できること。				
予約・キャンセル機能等	空き状況等の確認機能	⑯	各施設の予約枠の空き状況については、凡例表示（○・△・×等）や残数表示をすることができるなど、施設によって表示方法を切り替えることができること。				
病児保育室運営事業者機能	予約状況等の確認	①	リスト化・データ化された一覧で当日の予約状況を確認できること。				
病児保育室運営事業者機能	予約状況等の確認	②	利用者の登録情報や利用履歴等を閲覧できること。				
病児保育室運営事業者機能	代理入力	③	電話や施設窓口などで利用予約を受け付けた場合に、予約情報を代理入力できること。				
病児保育室運営事業者機能	利用者情報の管理	④	施設内での情報共有のために、利用者に関する申し送り事項などを、利用者ごとに入力することができるようにすること。				
病児保育室運営事業者機能	実績報告	⑤	毎日の利用履歴データを活用して、期間を指定した実績報告書（主な報告内容は、利用状況（利用、キャンセル、キャンセル待ち等）、登録番号、利用者氏名、生年月日、住所、病名・症状等）を作成できること。				
病児保育室運営事業者機能	施設情報	⑥	利用者が閲覧する施設の詳細情報について、病児保育室運営事業者が適宜、内容を修正できること。				
病児保育室運営事業者機能	情報発信	⑦	必要に応じて、一斉に、利用者が登録したメールアドレス宛てに、情報発信できること。				
区管理者機能	情報閲覧	①	施設ごとに登録された利用者情報や利用履歴等を閲覧できること。				
区管理者機能	情報閲覧	②	施設ごとの予約枠、空き状況が常時、閲覧できること。				

機能要件適合表

様式7

本事業にて導入を予定しているシステムが、実施要領別紙1「業務内容説明書」の「6（2）システムの要件」に示す各機能について、「システム標準機能」「カスタマイズ（機能追加や変更）」「代替案（利用・運用上の工夫）」のどの方法で実現できるか、当てはまる欄に『○』を記載してください。カスタマイズが有償の場合には、その費用がわかるよう見積書に記載してください。また、代替案の場合は、具体的な内容を備考欄に記入してください。

大項目	小項目	項番	概要	システム標準機能	カスタマイズ	代替案	備考
区管理者機能	実績報告	③	期間を指定して、施設単位、日単位の利用履歴から、実績報告書を作成できること。				
区管理者機能	施設情報	④	病児保育室運営事業者が登録した施設の詳細情報について、内容を修正できること。				
区管理者機能	情報発信	⑤	必要に応じて、一斉に、利用者が登録したメールアドレス宛てに、情報発信できること。				
その他機能	利用者支援	①	予約システム上で、利用者がマニュアルやFAQの閲覧等、システム利用におけるサポートを得ることができること。				
その他機能	利用者支援	②	予約システムのポータル画面等で、障害やお知らせを表示できること。				
その他機能	データ移行	③	今後、システム提供事業者の変更があった場合には、データ移行のためにこれまでの利用者情報を区及び区が新たに選定したシステム提供事業者へ提供すること。				